東大和市立郷土博物館だより

光と風

令和８年７月１日発行　第１２９号
東大和市立郷土博物館
207-0031東大和市奈良橋 1-260-2
電話　０４２－５６７－４８００
FAX　０４２－５６７－４１６６

企画展示　ラメリコルニアって知ってる？
みんな大好き！カブ・クワ・ハナ

期間　**7 月 18 日(土)~9 月 13 日（日）** **会場**　**郷土博物館企画展示室**

期間中の休館日　月曜日・7 月 21 日（火）・8 月 12 日（水）・ただし 7 月 20 日（月）は開館

カブトムシとクワガタムシは科が異なる昆虫です。この２種はずいぶんとかけ離れた虫のように思われますが、ラメリコルニアという大きな枠としてとらえることができます。コガネムシ科とクワガタムシ科は、意外と近い仲間のです。

狭山緑地に生息するカブトムシやクワガタムシ、それにハナムグリを世界の仲間たちと比べることで、同じクワガタ同士でもずいぶんと遠い仲間であったり、意外と近い仲間であることがわかります。身近に見られる虫から世界の仲間たちに思いをはせてみましょう。









写真　上段：カブトムシとピサロタテヅノカブト
　　下段：ミンダナオヒラタクワガタとヒラタクワガタ

ハナムグリについては、日本ではあまり人気のある虫ではありませんが、世界の仲間たちを見ると珍奇なもの・美しいものがたくさんおります。ぜひ、ご覧ください。

展示説明会　７月２６日（日）午前１０時から、担当職員による展示説明会を行います。ふるってのご参加をお待ちしております。狭山緑地の昆虫などについて、展示資料を見ながらお話しします。事前予約は不要ですが、２０人を越えた場合にはお断りする場合があります。

夏の催し案内

☎マークがついている行事は、事前にお申し込みください。郷土博物館 042-567-4800 までお願いします。

ロビー展示

戦時中の“モノ”平和事業関連展示展

戦時中ならではの“モノ”を通して当時のくらしの一端を知り、平和について考えてみましょう。
期間　7月18日（土）～9月13日（日）
会場　郷土博物館エントランスホール

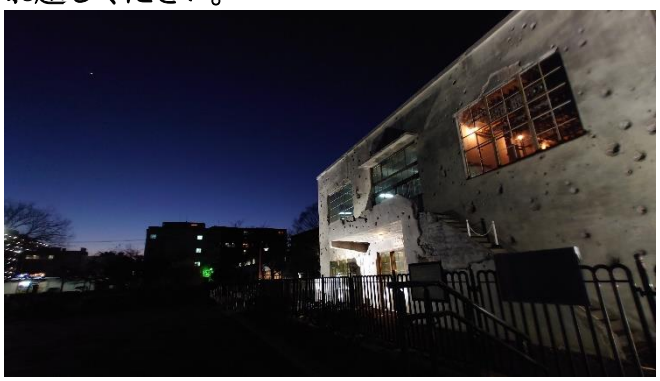
戦災建造物

旧日立航空機㈱変電所の公開

戦災建造物である変電所を公開しています。どうぞお越しください。
公開日　水曜日・日曜日
時　間　午前10時30分～午後4時

変電所のライトアップ

平和市民のつどいが開催される8月15日（土）は、特別公開及びライトアップを行います。ぜひ、お越しください。



時　間　午後4時30分～午後7時30分（ライトアップは午後6時40分～）
場　所　都立東大和南公園内

☎ 星空観察会　月と金星の競演

月みたいな形の金星を天体望遠鏡でみます。夏の星も探します。
期日 7月 18 日(土)／集合　午後 7 時 郷土博物館ロビー／持ち物　筆記用具、懐中電灯／定員　40 人（申込先着順）／案内　星空ボランティア・郷土博物館職員／会場　郷土博物館前

☎自然観察会

オオムラサキと夏の虫

オオムラサキや、セミの羽化、カブトムシやクワガタムシを探します。朝の会、夜の会、どちらかだけの参加も可能です。
期日　7 月 19 日(日)／集合　朝の会：午前 9 時 30 分・夜の会：午後 7 時 30 分　郷土博物館会議室／定員　25 人(申込順)／持ち物　筆記用具・懐中電灯（夜の会のみ）／案内　郷土博物館職員／観察地　狭山緑地　＊朝の会はお昼前、夜の会は午後 9 時前に解散予定です。

昼間の星の観察会

太陽と月をみよう

太陽の表面など、昼間にみえる天体を観察します。
期日　8 月 8 日（土）／時間　午前 9 時 30 分～10 時 30 分（時間内ならいつでもどうぞ）／案内　郷土博物館職員、星空ボランティア／会場　郷土博物館前

ダンボール織り教室

やさしいはたおり体験です。作品はお持ち帰りできます。どなたでもご参加いただけます。
期日　8 月 11 日（火・祝）　①午前 10 時～、②午後 2 時～／持ち物　　／会場　郷土博物館エントランスホール／定員　各回 10 人（先着順）

☎自然観察会　空堀川の鳥たち

カワセミやモズなど野鳥を中心に自然観察を楽しみませんか？
期日　10 月 4 日(日)／集合　午前 9 時 30 分 武蔵大和駅下／持ち物　筆記用具・双眼鏡／案内　郷土博物館職員／観察地　空堀川（清水橋～高木橋）

プラネタリウム夏番組

９月６日(日)まで好評投影中

夏番組投影表（休館日は除く）

	午前 11 時	午後 1 時	午後 3 時
平日(～7/17・9/1～4)			すみっコぐらし
平日(7/22～31)	ブルドッグたんていときえたほし		
平日(8/4～8/28)	すみっコぐらし	台　風	
土・日・祝日			

どの番組も、前半は季節の星座解説があります。

☆秋番組は 9 月 12 日(土)から投影します。

一般番組

すみっコぐらし
ひろい宇宙とオーロラのひかり

「すみっコぐらし」がプラネタリウムに登場します！

ある日、すみっコたちの元を訪ねてきたのは、世界中を旅しているともだちのぺんぎん(本物)。ぺんぎん(本物)のお土産からすみっコたちは、世界の不思議な土地や広い宇宙を感じることができました。

さあ、みんなもすみっコたちと一緒に星空を巡る旅に出かけましょう。

投影時間は、星座解説を含め 45 分程度です。

投影日時　平日は午後 3 時～、土・日・祝日は午前 11 時～と午後 3 時～／8 月 4 日（火）～28 日（金）は、平日も午前 11 時～と午後 3 時～



©2024 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

特別番組

台風～天体が生み出す大気の渦

地球最大の渦巻現象である「台風」。この巨大な渦は、地球の自転と大気が生み出しています。「台風」が発生するのは北西太平洋や南シナ海。ほかの地域で発生したものは違う名前で呼ばれています。

太陽系のほかの惑星で発生している、天体の生み出す大気の渦も紹介します。

投影時間は、星座解説を含め 45 分程度です。

投影日時　土・日・祝日 午後 1 時～／8 月 4 日（火）～28 日（金）は、平日も午後 1 時～

こども特別番組

ブルドッグたんていときえたほし

ブルドッグたんていにとけない謎はありません。この耳、この鼻、この目があれば、どんな事件でも解決します。空に星がなくなってしまったら…。この世に希望がなくなってしまったら…。そんな世界のはなしです。

投影時間は、星座解説を含め 40 分程度です。

投影日時　7 月 22 日（水）～31 日（金）平日午前 11 時～

投影時間は、星座解説を含め 40 分程度です。

季節の投影

たなばた投影

織姫星や彦星を探したり、七夕のお話をする投影です。職員が直接お話しします。

投影日時　7 月 5 日（日） 午前 11 時～、午後 1 時～、午後 3 時～

投影時間は 50 分程度です。

＊投影途中での入退場はできません。時間に余裕を持ってお越しください。
＊観覧券は午前 9 時から館内の券売機で販売します。
☆観覧料　大人 300 円/小・中学生 100 円/未就学児は無料

博物館カレンダー

郷土博物館は７月～９月のあいだ、次のように開館します。■は休館日です。

９月８日～11 日は、番組入れ替え作業のため、プラネタリウムのみお休みさせていただきます。

	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
7	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
月	26	27	28	29	30	31	
							1
8	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
月	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					
			1	2	3	4	5
9	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
月	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

この夏の天文ショー

金星が、夕方の空にみえます。日の入り後、空が明るいうちからみえ始めるので、この夏の一番星です。７月 17 日と８月 16 日は近くに細い月がみえ、なかなかきれいです。７月９日はしし座のレグルスが、９月２日はおとめ座のスピカが近くにみえます。

今年のペルセウス座流星群の見ごろは８月 13 日夜中から明け方で、ちょうど新月なので、いつもより流れ星がみられるかもしれません。

日本ではみられませんが、８月 13 日は、スペインなどでは皆既日食が起こります。

旧暦の七夕は８月 19 日。中秋の名月は９月 25 日です。

詳しくは毎月の「星だより」（館内発行）をご覧ください。

（野崎）

まちの文化財　あんなもの　こんなもの

唐　箕　（とうみ）



一番口には板をつるし、より分けた穀物が飛び散らからないように工夫



唐箕については『光と風』122 号でご紹介しました。令和６年 10 月号なので２年足らずでの再登場です。今回ご紹介する唐箕は、使いやすいように加工したことが分かる唐箕です。

江戸時代の唐箕は 1.5m以上もあるものでしたが、今回ご紹介するものは 1m に満たないサイズです。とはいえ、納屋から庭に出して脱穀作業をするには、ずるずると引きずるわけにはいかず、持ち上げて運びます。そこでいろいろなものを作るのが好きだったという、この唐箕を使っていた方は、年をとっても運べるように、足の部分にキャスターを取り付け、ゴロゴロと押して運べるように改造しました。博物館には、いくつもの新旧の唐箕がありますが、キャスターの付いた唐箕は初めて見ました。

購入したものでも、自分の使いやすいように手を加える例は、この唐箕だけでなく民具と言われるいろいろな生活の道具（東大和では生活文化財と呼んでいます。）によく見られます。同じ道具でも一人一人に合わせ、使いやすいように工夫された道具、たくさん使ってすり減ってしまった道具は、使った人の息遣いまで感じられるような気がします。だから民具は面白い！

（梶原）